

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 22日

事業所名 たいむクラブTWO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数によって、パーティションを活用して、活動スペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置基準に基づき、適切な人数を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	集団療育を目的としているため、個人に応じては構造化されていない。指示や話を聞けるよう訓練している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		広い空間へのびのび活動できるように支援室と収納スペースと分けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングを行い、情報共有等行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を職員で共有し、要望に添えるようミーティング等で話し合っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価の機会がなかったため、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員のスキルアップを図り、内外部研修の推奨をしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じて家庭訪問や面談を行いニーズ等を分析している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント表を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		今後、さらに見直しを図る。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		必要に応じて確認をしながら支援を行う。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、季節に合った活動や自立に向けた活動を取り入れている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもたちの成長に合わせ、活動をステップアップをしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		基本は集団活動だが、必要に応じて個別活動を行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		打ち合わせを行い、当日タイムスケールを活用し、確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを行い、業務日報を活用して共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日報や支援経過記録を作成し改善に繋げる。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回に加え、必要に応じてモニタリングを行う。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達責任者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		療育センターや各病院受診など積極的にすすめている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		専門の病院受診をすすめている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要に応じて職員が病院受診に同行している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎の際や、必要に応じて電話連絡等を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、ケース会議等も行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		社外研修に参加し、報告書において、情報を共有している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	他事業所に働きかけ機会を設ける。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	今後、検討をする。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		アプリケーション(コドモン)なども活用している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		社内にてミーティングを行い、ペアレントミーティングを行う。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時と、必要な時はいつでも説明を行う。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画書を渡す際、説明をしてサインを頂いている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		キャンセルが多い利用者、家族に対し助言、支援を行っている。(送迎時、TEL等)
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等は行っていない。コロナウイルス収束後、検討をする。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で連携をとり家庭訪問や面談を行う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動概要や行事予定表に記載しており、会報等はアプリケーション(コドモン)を活用し発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠付き車庫へ書類、パソコンの管理を実施。緊急連絡先はすぐに目を通せる場所へ設置。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		他事業所に働きかけ機会を設ける。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域住民の方、保護者を招待するバザーを開催。現在、コロナウイルスにより開催中止。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを作成、共有している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災、地震、風水害、不審者対応を想定した訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントにて聞き取り、個人カードに落とし、共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		現在、食物アレルギーのある利用者なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を随時提出、共有を行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		市が開催している虐待防止研修に参加し、社内研修にし、共有している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		社内にて決定をし、個別計画にもりこみ、説明をしたうえで、了解を得る。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。